

議案審議

■第3回定例会（9月）に市長から提出された議案は、決算認定7件、条例に関する議案5件、補正予算案6件、その他の議案4件、あわせて22件を認定・可決・同意しました。

■審査した陳情5件は不採択となりました。主な議案の概要は次のとおりです。

市長提出議案

■ヒノトントンZOOの入園料と駐車場使用料を改定

羽村市動物公園条例

【主な内容】 動物公園と駐車場について、より一層の効率化を図るため、管理運営を同一指定管理者が行うことができるよう、動物公園条例と駐車場条例を統合。また、受益者負担の適正化を図る観点から、羽村市使用料等審議会の答申に基づき、動物公園入園料及び駐車場使用料を改定するため、条例の全部を改正するものです。

【施行日】 公布の日及び令和6年4月1日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 料金改定による影響額は。

A 入園料の改定で、678万7770円、駐車場料金の平日の有料化で、374万9300円が増額する見込みとなっている。

Q 料金改定を行い、18歳未満は入園料が無料となるが、現在の利

用者割合は。

A 主な収入割合では、現在の大人料金が79・5パーセント、小・中学生が4・27パーセント、4歳以上が1・96パーセント、シニアが3・08パーセントとなっている。18歳未満の方の居場所づくりに努めていきたい。



ヒノトントンZOO

■教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員の任命について

委員の任期満了に伴い、羽村章氏を委員に任命するために議会の同意を求めるものです。

【任期】 令和5年10月1日～令和9年9月30日

【議決結果】 原案同意



■スイミングセンターの使用料を引上げ

羽村市体育館管理運営条例の一部を改正する条例

【主な内容】 受益者負担の適正化を図る観点から、羽村市使用料等審議会の答申に基づき、スイミングセンター使用料を改定するため、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 公布の日及び令和6年4月1日

【議決結果】 原案可決

■質疑

Q スイミングセンター利用者数のうち、市内の方の割合は。

A プールが63パーセント、トレーニングルームが82パーセント、サウナが77パーセントである。

Q 改定した場合の影響額は。

A 456万3000円の増額を見込んでおり、現在の収入の約27パーセント増になると考えられる。料金改定した場合、他市と比較してどうなるのか。

A プールの使用料金は、多摩26市の平均が397円であり、2番

目に高額となるが、トレーニングルームの使用料は2番目に安い料金となる。

Q 光熱費等の高騰の影響額はどのくらいか。

A コロナ前の平成30年度が3500万円に対し、令和4年度は5400万円である。

■討論

【反対】 物価高騰の中での値上げは避けるべきであり、反対。

【賛成】 光熱費等高騰に対し、受益者負担の観点から値上げを行うことは妥当であり、賛成。
(公明党)



スイミングセンター

■エネルギー価格等高騰対策助成金やゆとりぎの第二・第四駐車場の撤去費用などを計上

令和5年度羽村市一般会計補正予算(第4号)

【主な内容】 歳入歳出それぞれ9億7937万2000円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ251億7524万9000円とするものです。

【施行日】 公布の日

【議決結果】 原案可決

■討論

【賛成】 市の重要な施策の更なる充実を期待する。駐車場の廃止には市民への説明と対応を求め、賛成。
(新国会)

【賛成】 市民の福祉向上に寄与する事業が盛り込まれた予算であると評価。駐車場の廃止は安全対策を図ることを求め、賛成。(公明党)

【賛成】 駐車場の廃止は市の財政、利用状況から妥当であり、賛成。
(令和かがやき)

【賛成】 生活応援事業補助金の取組み方法や駐車場撤去にあたり、丁寧

な対応を求め、賛成。(日本共産党)

■博物館法改正に伴い文言を修正

羽村市郷土博物館条例の一部を改正する条例

【主な内容】 博物館法の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 公布の日

【議決結果】 原案可決

■質疑

Q 羽村市郷土博物館は「登録博物館」、「博物館相当施設」、「博物館類似施設」のどれに該当するのか。

A 登録博物館に指定されている。

Q 登録博物館の役割として、所蔵資料のデジタル化や地域と連携した事業への努力義務があるが、どう取り組んでいくのか。

A 将来的な所蔵資料のデジタル化を見据え、調査研究していく。地域との連携は、観光協会と連携した事業も実施しているところであり、法改正の趣旨に則り、運営を行っていく。

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継(9月12日・9月29日分)をご覧ください。

■市長提出議案の議決結果

<第3回定例会(9月)で全会一致となった議案>

件名・概要	議決結果
羽村市郷土博物館条例の一部を改正する条例 →P11	原案可決
羽村市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 →地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、条例の一部を改正する。	
羽村市児童遊園条例等の一部を改正する条例 →公の施設の条例における指定管理者の管理に係る条文等を整理するため、関係条例の一部を改正する。 【改正する条例】羽村市児童遊園条例、羽村市立公園条例、羽村市農産物直売所条例、羽村市弓道場条例、羽村市水上公園条例、羽村市生涯学習センターゆとろぎ管理運営条例	
羽村市動物公園条例 →P10	
令和5年度羽村市一般会計補正予算(第4号) →P11	
令和5年度羽村市一般会計補正予算(第5号) →歳入歳出それぞれ1,177万9千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ251億8,702万8千円とする。	
令和5年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ1億8,809万5千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ61億1,439万5千円とする。	
令和5年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ1,915万1千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ15億1,695万1千円とする。	
令和5年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ1億878万7千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ42億5,248万7千円とする。	
令和5年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ4,928万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ15億9,978万円とする。	
令和4年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について →令和4年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金3億8,618万8,245円のうち1億5,440万3,691円を減債積立金に積み立て、2億3,178万4,554円を資本金に組み入れる。	
羽村市と青梅市、福生市および瑞穂町との間の証明書の交付等の事務委託の廃止について →羽村市と青梅市、福生市および瑞穂町との間の戸籍証明書の広域交付等事務について、通信回線のサービスが終了すること、また、全国での戸籍事務内連携が本格稼働することにより、戸籍証明書等の広域交付が可能となることから、協議により規約を定め、事務委託を廃止する。	
損害賠償額の決定及び和解について →山梨県北杜市の旧羽村市自然休暇村敷地内において、市が管理する樹木が倒れ、解体工事のために駐車していた自動車を破損させた事故に対する損害賠償額を決定し、和解する。	
教育委員会委員の任命について →P10	原案同意

凡例

■各会派の賛否■

議案／

○…賛成

×…反対

陳情／

○…採択

×…不採択

■会 派 名■

新…新政会

公…公明党

令…令和かがやき(立憲・無所属)

共…日本共産党

ネ…市民ネットワーク

都…羽村市議会都民ファーストの会

世…世論

双…双葉会

<第3回定例会(9月)で賛否の分かれた議案>

件名	会派名 (数字は人数)								議決結果
	新	公	令	共	ネ	都	世	双	
	(6)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
羽村市体育館管理運営条例の一部を改正する条例 → P11	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決

<令和4年度決算認定の議決結果>

件名	会派名 (数字は人数)								本会議での 議決結果
	新	公	令	共	ネ	都	世	双	
	(6)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
特別会計									
国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	
後期高齢者医療会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
介護保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	○	×	○	
水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
下水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	

陳情の審議結果

件名	審査した 委員会	会派名 (数字は人数)								本会議での 議決結果
		新	公	令	共	ネ	都	世	双	
		(6)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
第8期介護保険事業最終年度末における介護保険給付準備金保有額の第9期介護保険事業計画への繰入について陳情書	文教厚生 委員会	×	×	×	○	○	×	×	×	不採択
「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を働きかける意見書提出を求める請願署名」を政府に送付することを求める陳情書		×	×	○	○	○	×	○	×	不採択
健康保険証の存続を求める陳情書		×	×	○	○	○	×	○	×	不採択
現行の健康保険証を残す意見書を国へあげてをを求める陳情		×	×	○	○	○	×	○	×	不採択
指定管理者に係る違法な条例の改正を求める件	総務 委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

会派名簿

新政会

さくらざわ ひろ と いけざわ あつし
櫻沢 裕人 池澤 敦
のぶまき かず や あきやま よしのり
野崎 和也 秋山 義徳
たかだ かず と とみまつ たかし
高田 和登 富松 崇

公明党

かね こ
金子ひとみ
なかにま まさる
中嶋 勝
とみなが のりまさ
富永 訓正
いし い ひさお
石居 尚郎

**令和かがやき
(立憲・無所属)**

おおつか
大塚あかね
はせひら こうぞう
馳平 耕三

市民ネットワーク

もん ま ひでこ
門間 淑子

世論

やまざき よういち
山崎 陽一

**羽村市議会都民
ファーストの会**

はまなか としお
濱中 俊男

双葉会

かん ゆうしん
菅 勇真

日本共産党

はまなか じゅん
浜中 順
すずき たくや
鈴木 拓也

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

般質問

一般質問とは、議員が市の施策の状況などについて質問することです。

第3回定例会では、

9月5日、6日、7日の3日間にわたり

17人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁内容は、9月時点のものです。



《Q》 带状疱疹ワクチン助成の考えはないか

《A》 今次定例会に経費を計上した補正予算案を提案した



濱中 俊男 議員（羽村市議会都民ファーストの会）

带状疱疹

ワクチン助成について

質問 助成する考えはないか。

市長 今次定例会に带状疱疹ワクチン任意接種補助事業に要する経費を計上した補正予算案を提案している。

質問 予算はどのくらい必要か。

市長 予防接種委託料や予防票印刷製本などの経費として1027万円である。

はむらん「羽村市役所」バス停への屋根付きベンチ設置について

質問 羽村市役所バス停に屋根付きベンチを設置できないか。

市長 道路占用許可基準に照らすと、歩道の有効幅員

が確保できないため、円滑な通行の確保の観点から設置できない。

清流地区への投票所設置について

質問 清流地区へ投票所を設置できないか。

選挙事務局長 国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律で、投票所から選挙人の住所までが3キロメートル以上ある地区の解消に努めることとしている。

清流地区は約1・5キロメートルのため、設置の考えはない。

質問 期日前移動投票所の実施や、投票日にバス送迎できないか。

選挙事務局長 現時点では考えていないが、投票所の近くまで「はむらん」をご利用いただければと考えている。

■その他の質問

成分献血への理解向上について



带状疱疹ワクチン任意接種補助事業紹介ページ(市公式サイトより)



《Q》児童等の見守りサービスを導入してはどうか

《A》他自治体の事例を情報収集し調査・研究する



櫻沢 裕人 議員 (新政会)

市民の安全について

質問 社会構造が変化する中、犯罪等の防止に効果的な地域の目をどう確保するか。

市長 NPO法人パトロールセンターはむらなどと緊密に連携し、地域の目を確保する。

質問 無線技術を利用した情報の伝達手段であるビーコンを活用して通学路上の児童の位置を保護者に通知している自治体がある。児童の見守りだけでなく、高齢者等の見守り等、さまざまな場面で活用可能なため導入しては。

市長 他自治体での導入事例を情報収集し、活用方法



パトロールセンターはむらの活動の様子

や有効性等について調査・研究していく。

災害時の行政の対応や備えについて

質問 災害時に利用可能な避難所の公衆無線LANサービスの運用方法は。

市長 各避難所を担当する市職員が端末を立ち上げ、避難した皆さまにご利用いただく。同時接続可能端末数や通信速度の関係から、状況に応じた譲り合いなど、注意事項を周知し混乱なく利用できるよう対応していく。

質問 災害に強い衛星系ネットワークの整備は。

市長 東京都の地域衛星通信ネットワークを利用する。

質問 災害時に、LINEの市公式アカウント（令和5年度運用開始予定）を活用した災害情報の発信等を行っている。

市長 市公式アカウントのシステムの提供事業者を選定する中で、実現可能か確認し検討する。



《Q》将来の学校教育のビジョンを示すべきでは

《A》今年度中に基本的な考え方をまとめ公表する



石居 尚郎 議員 (公明党)

少子化、幼児教育、学校教育の未来は

質問 学区の見直しなど、先を見越した人口推計に基づく将来の学校教育のビジョンを示すべきではないか。

教育長 現在、市内小・中学校の適正規模及び今後の学校の在り方について協議している。今年度中には基本的な考え方をまとめ公表する。

質問 幼児教育強化のために、より民間との連携強化を。

市長 引き続き、国や東京都の財源などの活用を図りながら、事業者の運営支援と連携強化に取り組んでいく。

水害対策の強化を

これまで重ねて質問をし

てきたことの、その後の経過について質問した。

質問 「まるごとまちごとハザードマップ」の状況は。

市長 浸水想定区域内にお住いの皆さまの意見も聞き、水防災に関する標示の取組みについて検討していく。

質問 清流地区における、あきる野市との防災連携の強化を提案してきた。その後の進展はあったか。

市長 あきる野市と協議を行い、災害時に清流地区にお住いの皆さまが、あきる野市の指定避難所を利用することが可能であることを確認している。今後もある野市との防災に関する連携を一層深めながら、清流地区の防災対策の強化を図っていく。



中学校体育大会で走者を応援する生徒たち



《Q》 孤立をなくすための体制を構築できないか

《A》 見守り体制等の充実を図り、対策を検討していく



金子 ひとみ 議員（公明党）

誰もひとりぼっちにしない
まちづくりをめざして

加速する高齢化社会等で高齢者のみ世帯、一人暮らし、晩婚化などの社会的孤立が拡大し、町内会・自治会の加入率も低下する中で、相談や見守り体制について質問した。

質問 社会サービスとつながりもなく、相談等の接点のない市民がどれ程いると認識しているか。

市長 多様な行政サービスや相談体制の周知に努め、市民一人一人に伝えるべく取り組んでいるが、人数を把握するのは難しいと捉えている。

質問 町内会・自治会の加入率が減少している。困り



町内会・自治会の入会案内チラシ

ごと相談や近所の見守り等が手薄になってきている。具体策は。

市長 町内会・自治会は、地域コミュニティの中核を担う重要な組織であり、町内会連合会と連携し、加入促進に向けた支援を進めている。民生・児童委員や友愛訪問員による訪問活動や地域包括支援センターでの総合相談、市内の事業者と連携した見守り活動の充実を図っていく。

質問 市民や各団体と連携し、孤立をなくすための地域相談・見守り体制を構築できないか。

市長 多岐に渡る分野において支援相談を行っている。今後も取組みを推進し、支援や見守り体制の充実を図るとともに、地域住民や団体等と連携した孤独・孤立対策についても検討していく。



《Q》 「らんまん」のモデルに関する郷土博物館展示の評判は

《A》 総じて好評であったと捉えている



高田 和登 議員（新政会）

自然観察会で観光振興を

NHK連続テレビ小説「らんまん」のモデルである植物学者の牧野富太郎氏が、100年前の大正12年8月26日に植物採集のため羽村を訪れていた。このことから羽村市観光協会は羽村来訪100年記念事業を実施している。

質問 自然観察会「牧野博士が羽村で採集した植物を探して」の申込者の人数は。

市長 50人参加し、申し込みをした全員が参加したと聞いている。

質問 記念講演「牧野富太郎の生涯と植物観察の楽しみ」の申込者数と参加者数は。

市長 79人が申し込み、72



郷土博物館で実施された植物標本展示

人が参加したと聞いている。

質問 郷土博物館で実施された牧野氏に関する植物標本の展示の評判は。

教育長 総じて好評であったと捉えている。

質問 「新版はむらの植物ガイド」「新版はむらの野鳥ガイド」「はむらの昆虫ガイド」の販売実績は。

教育長 それぞれ1316冊、1010冊、626冊である。

口腔ケアのさらなる啓発を

質問 保健センターで開催された「ムシ歯の誕生日」記念講演会の受講者の人数は。

市長 47人とのことである。

質問 口腔ケア啓発のため、受講者数を増やす工夫をしては。

市長 周知期間を長く設定するなど多くの方に参加いただけるよう工夫する。



《Q》福祉センター等福祉避難所を一次避難から開設しては
 《A》福祉センターは指定避難所の開設に合わせて開設する



中嶋 勝 議員（公明党）



指定避難所へ一時避難することなく、避難できる福祉センター

実効性ある
個別避難計画について

質問 ※避難支援等実施者が見つかからない場合、地域で調整する場を設け、サポートしては。

市長 避難支援等実施者の確保は必須である。福祉関係者等と連携した会議体の設置も検討していく。

質問 先進事例や研修、専門家の派遣受入れ等、より積極的な作成の進展をしては。

市長 今後、計画作成の加速化が課題であるため、迅速に進める方法を検討する。

質問 福祉センター等の福祉避難所を一次避難から開設しては。

市長 福祉センターは指定

避難所の開設に合わせて開設する。

質問 指定避難所で未設置の小学校の体育館へのエアコン導入を急ぐべきでは。

教育長 近年の異常な気温上昇、また避難所としての使用も踏まえ、空調設備の設置を検討していく。

災害ケースマネジメント
について

質問 被災時、弁護士や保健師等の専門家チームで早期自立への支援をする取組みである、災害ケースマネジメントを平時の今から、体制整備しては。

市長 きめ細やかな被災者支援ができるよう、調査研究していく。

带状疱疹ワクチン接種費用
助成の早期実施を

質問 市民が望んでいる接種費用助成の早期実施を。

市長 実施するための必要経費を今次定例会に補正予算案として提案した。

※避難支援等実施者：避難行動要支援者の避難支援を実際に実施する方



《Q》メタバース（仮想空間）での学習支援等の検討を
 《A》情報収集を行い実施について検討している



富永 訓正 議員（公明党）



バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(仮想空間)のイメージ
 (東京都教育委員会ウェブサイトより)

子ども、子育て世代、若者
向けの重層的支援の拡充を

質問 不登校児童・生徒への支援に向け、フリースクール等との連携、学校内実施の考えは。

教育長 当該フリースクールと情報共有を行い、出席日数や学習の状況などを確認している。必要性が高まっており、情報収集と児童・生徒へのきめ細やかな対応に取り組む。

質問 メタバース（仮想空間）での学習支援等の積極的な検討をしては。

教育長 東京都教育委員会是不登校等の対策として、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム事業（仮

想空間）を立ち上げた。情報収集を行い、実施を検討している。

広域連携への
取組みの見える化を

質問 効果的、効率的な行政運営のため、広域連携のさらなる強化で、住民福祉の増進に向けた取組みを進めるべきでは。

市長 圏域に共通する課題解決に向け、効果的な連携・協調が図られるよう積極的に取り組む。

